

兵庫区会

美しい会下山公園づくりに発展

45年間のラジオ体操会活動が実を結ぶ 福3 兵 山中 敏夫

シルバークレージに学んだ私たちは“再び学んで他のために”を合言葉に、多様な社会活動に参加しています。しかし“他のために”は実は自分の健康と生き甲斐のためになっていることを多くの人が認めています。

そのことが他の人にお世話にならないで生きて行く事によって、他の人へのボランティアになっていると思います。そのために手軽に参加し、お手伝い出来るのが、いま市内51ヶ所で行われている年中無休の朝のラジオ体操だと思います。

私が45年来参加してきた「会下山ラジオ体操会」は、兵庫区の中央、標高50mの会下山の山頂にあります。緑の多い適度な散歩道を登ると、楠正成湊川陣跡の碑や、殉職海員3万2千余の霊を祀る海員萬霊塔のある広場です。



朝日を一杯に浴びて会下山ラジオ体操の会員たち

昭和33年7月(1958年)に、近くの医師家族によって始められ、年毎に参加者が増えたのです。昭和40年代から60年代にかけて、春と秋の気候のよい時期は800人、夏休みには小学生の参加もあり1,000人を越す大体操会場となりました。冬場でも500人の参加者がありました。

毎朝、雨の日も風の日も一日も休むことなく、ラジオ体操で健康な汗を流しています。体操のあとは民謡の輪、あちこちで詩吟、将棋、輪投げ、バドミントンを楽しむ人々で賑わっていました。

年中行事も盛んで元旦の新年祝賀式、春の花見会、将棋大会、バドミ

トン大会。夏は夏休み体操会、盆踊り大会、秋の輪投げ大会、運動会。また日帰りバス旅行、ハイキングと毎月のように行事を行ってきました。

こうした盛り沢山の行事もわずかに100円の年会費で、多くの世話役の方々の積極的なお手伝いと、少額ながら多数の方の寄付によって今日まで続けることが出来ました。

昭和51年8月、会下山会場からNHK全国放送によるラジオ体操会が放送され、3,000人の参加者が集まりました。55年4月には朝日放送ラジオ「おはよう道場洋三です」で紹介されたり、郵政省からラジオ体操全国優良団体など数々の表彰を受けました。熱心な会員も多く、現在1万回以上の参加者が2人、5千回以上の方が50人もいます。

この盛況が一変したのは平成7年

1月17日の阪神淡路大震災です。震災5日目から再開したもの、ほとんどの行事が休止し、最近の体操参加者は春から秋には200~230人、冬には50~80人に減っています。

こうした体操会も他のところも同じだと思いますが、当初は近隣の住民とのトラブルが度重なり

ました。ラジオの音が高いとか、沿道での参加者の話し声や笑い声に対する苦情、嫌がらせが大半でした。

いまではご近所との相互理解も深まり、以前のような賑わいを見せています。市当局からも50年近い活動実績が認められて、会下山公園一帯の清掃委託を受け、会員有志が毎月2回、広い公園の隅々までゴミ拾いをしたり、年1回サクラの苗木を植え続けています。

近隣地域団体と行政と共に“美しい公園づくり”への動きは始まり、少子高齢社会に対応するために、多くの地域住民の健康とコミュニティづくりへの参加が望まれています。

垂水区会

理想の土で花壇や畑作り

垂水会地域活動部会

生9 - 垂 竹中 任

神戸市立多聞ひまわり幼稚園で園芸作業している垂水会地域活動部会の在籍人員は15名です。第1、第3火曜日の活動日には8~9名の方が常に参加されています。

作業時間は午前9時30分から11時30分までの2時間です。活動内容は園児がつくる野菜畑や花壇用の土作りが主な作業ですが、他に園児たちが参加できる畑で、季節毎に植える野菜、じゃがいも、玉葱、さつまいも、キュウリ、トマトなど10種類ほどの作付けも行います。幼稚園の花壇には季節に応じた清々しい花が常に咲いております。



きゅうり、おぐらの苗植えの部員たち

生き物が相手ですので、月2回程度の活動では、満足できる世話ではありませんが、メンバーの人達が随意に園に来て雑草を取ったり、苗木の添え木等を作ったりしています。

「食育」の重要性が注視される中で、我々はできるだけ「理想の土」即ち山の腐葉土のように有機物や、ミネラルを多く含んだ土作りを目指して日々の作業をしております。また園児の年長組との会話を通じて、虫の働きや生き物の命等について、いろんな質問や問いかけも楽しみの一つです。

いま幼稚園では、さつま芋、ゴーヤ、キュウリ、さんどまめ、おくら、ひまわり等で緑一杯です。メンバー全員が楽しんで活動しております。

